



ひらほく新聞で検索!

★ホームページ ひらほくランド★
http://www.hirahoku.com/
☆バックナンバー含め ひらほく新聞を
閲覧・ダウンロード可能です!

発行所 読売センター平塚北部(ひらほく) 山本 直 〒254-0013 神奈川県平塚市田村9-4-32 電話 0463-54-2807



自分と同じ筆文字の師匠、「しもやん(下川浩二さん)」のマネを徹底的に続けて、とうとう公務員を退職、自由業に転身した「たまちゃん」こと、小玉宏さんの小冊子ができました。いまや全国にたくさんいるファン「たまちゃんファミリー」の「島根支部」、大島健作さん(けんちゃん)が制作、3月3日に発行されました。ご紹介します。

今年1月13日に島根県出雲市の出雲西高校でたまちゃん(小冊子)が講演した講演録として、同校の協力を得て雲南市の市民活動団体「雲南元気学校」代表でもある大島さんが、A5判100ページにまとめた小冊子は、「いつも心に太陽を」幸せに生きるためのたった一つの法則」という題名。

なぜ、たまちゃんは、中学校教員、後の先生の先生でもある教育委員会の職までも退職して、現在のような筆文字講座や講演会で全国を走り回る自由業に身を転じたのか? 講演では、自身の高校時代からこれまでの人生経験を余すことなく実に面白く、分かりやすく話してくれています。

高校1年の時から落ちこぼれて、すべてをあきらめて、「落ちるところまで落ちた」という高校時代。転機は高校3年の時に赴任してきた化学の先生との出会い。「おかしいかと思ってたその先生の評価が180度変わって、超素敵な先生! って認識し始めた」。そして、その先

生にあげられ、おっかけを始めて「こんな先生になりてえ」って思っておかしな本気のスリッチが入って猛勉強の末、落ちこぼれが何と先生と同じ広島大学に合格。ところが入学までで燃え尽き症候群となり、大学に行かなくなる。大学2年の秋口、ある選択の時が来て、その進路の決断に際して涙の出来事。そのおかげで大事な目標を思い出して頑張り、一発で教員採用試験に合格。

せい、人のせいばかりして生きてきて、自分の腕とか全然磨かずに、ただ子供たちを殴って殴って、それで生きてきたんや」って思ってた。たまたまなく恥ずかしくなった。そこから自分の人生が少しずつ変わっていった。「人のせいにするの、止めよう」って思った。そして、同じ経験をしていたから「わっ、その気持ち、分かるよ!」って言えるようになり、ヤンキー達とどんでん周りに集まってくるようになって、その子たちがみるみる変わっていった。そしておかしな人生が始まった。:

以下、珠玉の語りより。「お金って、自分へのご褒美とか自分の喜びのために使っている時はね、そんな幸せの扉、一個も開かなかつたんですよ。ところが、人にプレッソントしてね、人が喜んでくれたらね、ジャンジャン幸せになって、結果ね、二日しか働いていないのに、全然生活に困らなくなつたんですよ。」

「ありがとうございます」と「ありがとう」っていう言葉にはね、ものすごエネルギーが込められているんやっちゃうのが分かった。それを教えてくれたのが、日本の神様ですわ。」

「ありがとうございます」って「有る」ことが難しい」って書く。つまり、奇跡だっていう意味です。で、「ございます」ってあるでしょ。「御座います」って「座」って書くでしょ。「尊い人がそこにいます」って「ありがとうございます」って「今、目の前で奇跡が起こっています」ちゆう意味なんですよ。」

その奇跡が起こっていることに対して、神様に「ありがとうございます」って「感謝してありがとうございます」っていう意味なんですよ。だからね、「ありがとう、ありがとう」って言う、目に見えない日本の神様が、寄つてたかって皆さんの味方をしてくれますわ。これほんとです!」

講演録からは笑いあり涙ありのたまちゃんの自らの波瀾万丈の体験と、体験から学んで発見した幸せに「生きるコツ」を生徒たちにとても親しみやすい語り口で話す様子

小冊子の後半は、高校生からの「たまちゃん先生」への質問コーナー。生徒からの率直な質問が寄せられ、それぞれにたまちゃんが、自身の体験からつかんだユニークで説得力のある答えを披露しています。二つほどご紹介しましょう。

【質問】人のことをとても羨ましく思ってしまう、落ち込んでしまいます。どうしたら羨ましく思わなくなるでしょうか。

【答え】あの、みなさんの年代でそういうです。私もそうでした。人を羨ましいんです。何で、人は上手く出来て、自分は出来ないんだろうって、落ち込むんです。そんな経験、ありませんか。ところが、比べる相手を間違えているんですよ。あのね、人ってね、実はいいところしか見えないんです。例えば、ピアノがうまく弾けたらね、「うわー、俺もピアノ、うまく弾いてみてー」

って思うんですけど、弾いてみたらうまく弾けるわけないんでね、「何で俺、才能がねえんだ」って思ってしまう。でも、そのピアノをすらすら弾いている子は、最初っからすらすら弾いていたかつちゅうと、そんなわけはない。ね。小さいころからずーっと、練習して練習して、時には悔し涙を流して、時には辞めたいと思いつながら、それでもピアノの練習をしてきたから、だから、すらすら弾けるんですよ。でもね、人ってね、結果しか見えないんです。結果しか見えないから、羨ましく思える。

あのね、比べる相手を間違えているんですよ。もともとね、人と比べても、うまくいきません。何でかつたら、スタートラインが違うからです。もし、同じ親から、同じ日時に生まれて、同じように教育を受けて育つて来て、それでね、その子と比べてダメだったら、落ち込んでいいですよ。

だけど、もともとスタートラインが違うのに、比べられるわけじゃないんですよ。ですよ。人と比べることに、何の意味もありません。ところが、世の中に一人だけ、比べることのできる人がいます。それが、昨日までの自分なんです。昨日までの自分よりも、一ミリでも成長したと実感できたならば、それで大成功一歩つちゆう奴ですよ。世の中ってね、小さな一歩でしか変わらないように出来ています。すごい人は、すごいことをやっただけじゃない。すごい人は、毎日一歩ずつ踏み出した人なんです。これ、本当ですよ。

なんでね、人のことを羨ましく思わない。昨日の自分と比べて、今日の自分が伸びていたら、それで大成功やないですか。【質問】えー、進路が決まりません。【答え】えー、みなさんは、何のために生きるか、知っていますか。それがね、「いつも心に太陽を」っていう生き方なんです。「お天道様のように生きていきなさい」という言葉、聞いたこと、ありませんか。お天道様って、太陽のことですよ。お天道様の様に生きていきなさいっていうことは、どういふことか。「惜しみなく与えなさいよ」っていう生き方なんです。惜しみなく与えなさいよ、そうすると必ず幸せになれるですよ。というふうに、日本の神様が教えてくれているわけです。何を与えるかまで、決まっていますよ。【熱」と「光」です。いつも周りの人に温かい心を届けてあげなさいよ、いつも周りの人にスポットライトを当ててあげなさいよ、照らしてあげなさいよ、あたたかく包んであげなさいよ、それがあなたの生き方なんです。っていうことを、日本の神様は教えています。そういう生き方を、天の道つちゆうんですよ。だからね、お日様のことをお天道様っていうんです。天の道つちゆうのはね、私たち、日本人の生き方ですよ。なんでね、みなさんの出来る範囲でね、みなさんの周りの人に与えて下さい。「熱」と「光」、それが一番出るのが、あなたがたの『笑顔』なんです。笑顔は、熱と光を持っていきますからね。なんでね、スマイルゼロ円って、知ってますよね。笑顔ってね、無料ですから。なんでね、惜しみなく与えて下さいよ。(おわり)

☆さて、幸せに生きるためのたった一つの法則とは? 裏面にて!

